

● 沿ドニエストル和平「3+2」者協議の開催

A. 主な動き

1. 内政

▼6月3日、統一地方選挙実施を決定

・23日、モルドバ国会は6月3日に地方選挙の実施に関する決議を採択。選挙キャンペーンは4月3日からスタート。

2. 沿ドニエストル問題

▼オニール駐モルドバOSCE代表の露ドモジェドヴォ空港での事件

・16日、オニール駐モルドバOSCE代表は露から出国する際ドモジェドヴォ空港にて1920年代のポスター75点を証明書なしに国外に持ち出そうとしたとして税関職員に没収された。

・21日、カニャーニン露外務省報道官は右事件につき外交特権を悪用したものであり対応を検討中とコメント。

・22日現在、駐モルドバOSCE代表部は本件につきノーコメントとしている。

▼20日、沿ドニエストル和平「3+2」者協議の開催(於:ウイーン)

・沿ドニエストル和平交渉の仲介者(OSCE、露、ウクライナ)及びオブザーバー(米・EU)による「3+2」者協議が開催。紛争当事者間(モルドバと沿ドニエストル当局)の対話の不在につき憂慮を表明し、近く「5+2」者協議開催を呼びかける旨発表。

▼21日、ラブロフ露外相の発言

・ラブロフ外相は国家院においてロシアはコソヴォ問題の紛争解決方法を直接旧ソ連の紛争地域に適用しようとしませんが、コソヴォのいかなる事態の進展も旧ソ連紛争地域の前例になりうる旨発言。

3. 外政

▼20-22日、モルドバ・ロシア議会間協力委員会の開催

・20日、モスカレツ露連邦院憲法委員会委員長を長とする代表団がモルドバを訪問。ヴォローニン大統領、タルレフ首相と会談。

・21日、モルドバ・ロシア議会間協力委員会としてルプ国会議長らと主に両国議会による協力関係の強化経済・社会分野における両国の懸案事項につき協議を行った。

・次回委員会を本年9月にモスクワにて開催し、沿ドニエストル問題についても協議を行う旨合意。

・同委員会は03年の設立以来初の委員会実施となった。

▼21-23日、ストラタン副首相兼外相のモンテネグロ訪問

・ストラノビチ首相、ジュロヴィチ欧州統合担当副首相他と会談。ストラノビチ首相との会談において、観光、私有化、銀行・記入部門への投資につき協議。またジュロヴィチ副首相との会談において、両者は欧州統合プロセスの経験を共有することで合意。

▼22日、タルレフ首相のスロバキア訪問

・ガスパロヴィチ大統領、フィコ首相他と会談。ガスパロヴィチ大統領より「5+2」協議の枠内における沿ドニエストル問題の平和的解決へのモルドバ側の努力を支援する用意がある旨、EU国境ミッションの活動を評価する旨の発言。また両首脳は二国間協力関係の強化、6月のガスパロヴィチ大統領のモルドバ訪問等につき合意。

▼23日、ヴォローニン大統領のロイター通信に対するインタビュー

(対ルーマニア関係)

・ルーマニアはモルドバにルーマニアの言語、文化を強要し、市民権を提供することによりモルドバを旧ソ連諸国から排除しようとしている。20世紀を通じてモルドバの領土に関心を持っており、ナショナリスト政策・統合政策をとっており、モルドバの国家性、モルドバ国民、歴史及び言語に対する侵略である。

(対露関係)

・対露関係は修復され沿ドニエストル問題の解決に明るい兆しが見えてきたが、一方で露はモルドバの領土の統一性を認めていながらも沿ドニエストル当局を支援している。紛争解決の鍵は、沿ドニエストルへの幅広い自治の付与であり、1200名の露軍撤退は露の国益でもある。

・2006年の露によるガス供給価格の値上げ及びワイン禁輸措置はモルドバ経済に対するダブルパンチであった。

4. 防衛

▼安全保障地帯住民の武器削減策提案

・22日、ソロネンコ共同管理委員会(JCC)共同委員長(モルドバ代表)によると、同日のJCC会合において、先にモルドバ側より提案されていた、安全保障地帯住民への不法所持武器自発的提出提案が、ロシア側により受理され、次週、その実施の詳細が協議される予定となった。また、同会合において沿ドニエストル代表は、反対も含めコメントしなかった由。

B. その他の動き

3/20 (火)

・露国家衛生監督庁はモルドバ肉加工業者1社に輸出免許の停止処分を行った。モルドバ側は露より輸出規則変更につき事前連絡がなかったことが原因である旨主張。

3/21 (水)

・ヴォローニン大統領は任期を終了するチャーリー駐モルドバウクライナ大使に名誉勲章を授与。

3/23 (金)

・ウクライナ国家航空当局及びモルドバ国家民間航空当局はキエフ・キシナウ間定期便の増便につき協議するも合意に至らず。

・モルドバ国会において国会審議のテレビ・ラジオでの生中継を中止する旨の規則を採択。

(了)

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と標記しています。